



本日、「冬至」。  
一陽来復…校舎前からの  
ご来光をお裾分け♪

校訓「己を識り 能を研く」 教育目標「知の研鑽・清澄な心・壮健な体」 文責：菅原（理）



# 前期から後期へ～手渡された「東中生徒会」のバトン～



時の過ぎるのはあっという間。師走に入り、通年繁忙期の中学校も、さらに「超☆繁忙期」を迎えています。1、2年生は3年生から引き継いだ生徒会の運営を、3年生はこの三者面談での希望進路決定・確認を…等々、それぞれのステージで目の前の課題に取り組んでいるところです。

12月に入り、生徒会の期末向上運動（「自分たち」の課題を「自分たち」で洗い出し、「自分たち」で改善を図る）に取り組みました。何を意識し変えられたのか。それを財産にして次につなげることを期待しています。

## ★成長した背中～生徒総会

11月18日（火）、本年度第2回目の生徒総会が行われました。前期スローガン「飛翔～未来への滑走路～」のもと取り組んできたことを総括し、後期へと引き継ぐものです。総会での成長した姿から、時間の重みを実感しました。

### 〈1年生〉「一関東中学校『生徒会・会員』として

入学して約1か月のところで行われた前期の生徒総会…小学校の児童会と比べ人数も増え、グレードアップされた雰囲気にも圧倒されたのか、1年生は一様に背中を丸め発言もなく、緊張した様子でした。

ところが（!!）後期の生徒会での様子は全く別人。質問に立つ生徒、内容や分担を確認するために周囲と相談する生徒…そこにはまさに、一関東中生徒会の「一員」としての姿がありました。

### 〈2年生〉『当事者』の立場が人を育てる～清々しい緊張感

人は「お客様（≡サービスを受ける側）」という認識でいると、物事を軽く考えたり扱ったり、あるいは人のせいにしがちです。2年生は、本校で少数精鋭、17人の集団。一人として「人任せのお客様」でいられる人などいません。だからこそ、それが、とてもいいんです!!

「当事者」として物事を「突き詰めて考え、判断する経験」は、これまであまりなかったかもしれませんが、責任感も人を育てます。役員も、フォロワーの生徒も、清々しい緊張感を持って生徒総会に臨んでいたのがとても印象的でした。2年生には、自分や自分たちの力を信じてどんどん前へ出る、失敗を恐れず挑戦すること、人を受け入れる度量を持つことを期待します。

### 〈3年生〉「終わった後の『背中』の大きさ」

生徒総会の終了後、ふと見た3年生の後ろ姿に思わずハッと息をのみました。ひとつのことをやり遂げた背中がそこにありました。最後の生徒総会では3年生が新役員の「目を見て話をする」場面が印象的で、そこに心を感じました。

11月27日の引継ぎ式では旧役員に花が贈られ、生徒会のバトンが引渡されました。3年生にはひとりの生徒会員として後輩たちの活動を励まし、支えてほしいと思います。



# 響き合う東中のハーモニー

一関地方中学校総合文化祭&岩手県中学校総合文化祭

一関地方中学校総合文化祭（一関文化センター大ホール）



岩手県中学校総合文化祭（トーサイクラシックホール岩手県民会館大ホール）



# 「合唱の東中」～東中プライド～

交流と合唱指導を受ける機会に恵まれました。本年度は「一関地方中学校総合文化祭」と、盛岡市トーサイクラシックホール岩手県民会館で行われた「岩手県中学校総合文化祭」に一関地方代表として参加する機会を得て、生徒会執行部による一関市と生徒会活動の紹介、そして文化祭後も練習を重ねてきた合唱を披露してきました。広い大ホールで県内各地から集まってきた中学生の前で披露したのは2曲、「一関東中学校 校歌」と、本校文化祭でも披露した「時の旅人」です。文化祭で講評いただいた一関修紅高等学校 菅原恵先生に重ねてご指導いただき、代々の先輩から受け継いできた東中プライド、『合唱の東中』という伝統を、大舞台上で発揮することができました。大役を果たした指揮の岩淵巧雅さん（3年）、伴奏の岩淵楓さん（3年）と橋本さくらさん（3年）、東中合唱を率いてきた生徒会執行部の菅原雄斗さん、文化委員長の袋地亨斗さん（3年）、本当にお疲れ様でした。左下は、県での発表後に撮影した全校写真…皆、いい表情です。



（一関修紅高校 菅原恵先生による指導）



同じ中学生との文化交流による「学び」「気づき」は、多様な価値観に触れることによる心の化学反応を通じて視野が広がる体験につながります。たくさんの「本気」、たくさんの「本物」との出会いを大切にしたいです。

## 全力の県中文化祭

3年 岩淵 巧雅

私は、県中文化祭の舞台上、「時の旅人」の指揮者としてステージに立ちました。何度も練習してきたことを発表する場でしたが、当日までの間、とても緊張しました。自分が東中の合唱を背負っているかと思うと、プレッシャーに押し潰されるような気持ちになりました。指揮自体ミスはあったと思いますが、無事に最後まで堂々としていくことができたので良かったです。また、他の学校の発表には、東中と同じような合唱以外にも伝統芸能や演劇、吹奏楽などがあり、各学校の特徴について知る良い機会となりました。この県中文化祭は、東中の発表と他校の発表の鑑賞どちらも楽しいものとしていくことができたと思います。

## 世界が変わった県中文化祭

3年 佐藤 丈

「県中文化祭、最高だった～」と言っている人がいて、やっぱりみんなも楽しかったんだな、と思いました。県中文化祭をやる前には「めんどくさい」と言っている人がいたけど、みんな頑張ったのだな、と思いました。そして、自分には、これが最初で最後の県中文化祭で中学校最後のこういう舞台だったので、終わった後は「これで…終わりか…」と悲しくなりました。これからは卒業式に合唱があるので、練習にしっかり取り組みたいです。

## 進路選択のヒントに… 千厩高校出前授業



12月15日（月）、現役千厩高校生が来校し、2・3年生を対象にした産業技術科の概要説明と実習体験が行われました。中には本校出身の先輩もいて、生き生きとした表情で産業技術科について教えてくれました。本校生徒も、実に楽しそうに話を聞いたり実験をしたり。実際に学んでいる高校生の姿は、高校生活の「リアルな魅力」を伝えてくれます。小グループにかれての実験では、あちらこちらから笑い声や「おおおお！」という発見＆驚きの声が聞かれ、大変盛り上がっていました。

一関市内には「工業」について学べる上級学校が3校ありますが、その中で千厩高校は唯一、工業系以外の学科も併設する学校です。行事や生徒会活動も普通科や生産技術科と一緒に、目的の違う複数の科があることで得られる刺激や

見える世界がありそうです。この冬休みを、様々な上級学校について調べる機会にするのもいいと思います。

## 自ら、情報を 「取りに行く」

「求めよ、さらば与えられん」という言葉があります。「熱心に求めれば、そうすれば必ず与えられる」という意味です。

「進路」とは「自身の進む（生きる）道」。大人に向かう中学生にとって、納得できる進路選択の一步は、「自分『が』動くこと」。

中学生！自分の人生、自ら情報を取りに行こう！

# ★授業参観 ありがとうございました！



1年生



2年生

11月21日(金)の授業参観、大変ありがとうございました。お子さんの姿、学級の雰囲気はいかがでしたでしょうか。1年生では話し合い活動の様子、2年生では発表の場面、3年生は入試に向けての進路事務説明会と、学年それぞれの発達段階に応じた活動・内容となりました。



3年生：進路事務説明会

## ★第2回教育についてのアンケート結果から

過日お願いした第2回目の教育についてのアンケート、お忙しいところご協力いただき、大変ありがとうございました。お子さんを通じて結果を配布しましたが、ご覧になられたでしょうか？

本年度まなびフェストのキーワード「生徒の『自己決定』」。学校とご家庭とでこれを意識しながら生徒の成長を支えてきたところです。アンケートでは「学校を楽しんでいる」という設問への肯定的回答が生徒・保護者・教員の三者とも90%を超え、生徒・保護者に増加傾向が見られました。とても嬉しいことです。逆に肯定的回答が減少しているのが「メディア使用」に関する設問です。「居間9ルールを知っている」割合は増加したものの、「テスト期間中のノーメディア（セーブメディア）取組」「居間9ルールを守っている」等には大きな課題が見られました。

その他いただいたご意見につきましては、今後の学校経営に活かしてまいります。



## 保護者対象：「情報モラル学習会」 ～東中学区3校合同 家庭教育学級～

11月21日(金)、授業参観に抱き合わせて、本校を会場に東中学区合同家庭教育学級が開催されました。内容は、教育についてのアンケートにて保護者のみなさんからリクエストいただいた「情報モラル」学習。講師に岩手県警察スクールサポーター小野寺洋氏をお迎えし、東中・滝沢小・弥栄小の関心を持つ保護者のみなさんと教職員とで、様々なトラブル(含犯罪)のケースを学習しました。

講話も資料もどれもリアルな情報ばかりで、普通の日常生活に潜む「闇」を感じるものでした。まず大人が知識を取りに行くこと、

「まさかあり得ない」「うちは大丈夫」等のバイアスに囚われずアンテナを高く持つこと、子どもと正面から向き合い一緒にルールを決め守ること等、冬休みを機会にご家庭でアップデートを図ることをお勧めします。